



No.51 発行日 25.12.10

みどりの風

MIDORI NO KAZE

H.P <http://akaneen.com/>

「第27回 あかね園バザー」開催

バザー実行委員長
岡崎 幸子

10月6日開催の「第27回あかね園バザー」は、千名を超える過去最多の来場者をお迎えして、今年も盛大に行うことができました。50数社のほる協力企業様や数百もの近隣家庭や関係者の方々のお力添えで“多様で豊富な商品”を取り揃えることができました。

「日用雑貨」「食器」「衣料品」「寝具」「食料品」「手芸品」等の各コーナーで、多くのお客様に、バザーでの買い物の醍醐味をお楽しみ頂けたようです。また、ステージ上で展開された「秋津ばか面踊り」や「船橋芝六太鼓」の踊りや演奏を見ながら、「喫茶」「クレープの店」「綿あめ屋さん」での飲食風景は地域の“秋祭り”の雰囲気そのものでした。

「あかね園生による家具組立実演コーナー」と共に、他施設から参加の「北総育成園」や「ふるさと学舎」「オリーブの樹」の入所者による作品販売コーナーは“障害者の働くこと、暮らすこと”の一端をみて頂く良い機会にもなったかと思いま

田中康大さん▶



▲習志野市長と



す。一方、園内二階の「食堂」は、ご家族と、お友達と、懐かしい方々と、それぞれ食事を楽しみながらの“談笑の場”になりました。回を重ねたあかね園バザーの歴史を見るような場面でもありました。

ところで、今年は新しく「田中康大さん応援Tシャツ販売コーナー」を設けました。あかね園所属の彼は2012年ロンドンパラリンピック競泳(100m平泳ぎ)金メダリストですが、目下、リオの大会を目指してトレーニングに励む毎日です。そこで、園をあげて応援しようと、本人手描きのイラストをプリントしたTシャツを作成、今回のバザーを期に販売を始めました。早速習志野市長がお買い上げ下さり、一日店員の田中さんと握手する姿も見られました。さて、園の創立と同時に始まった「あかね園バザー」は、親達の活動の原点でもあります。近年は、「バザー実行委員会」として、「誰かに頼る前に親として精一杯のことをする」精神を受け継ぎながら、更に次のステップ、時代に即した新しい形のバザーを模索中です。

障害者とあかね園を輪の中心にして、親兄弟、近隣の人達、知人友人、企業や福祉関係の方々が一同に会して楽しく交流できる場所、それが毎年10月第一日曜日開催の「あかね園バザー」でありたいと思っています。皆様の一層のご理解とご協力をおねがいの次第です。

多機能型事業の現在

副園長 松尾 公平

この4月に、「障害者自立支援法」が通称「障害者総合支援法」に改正されました。この法で、注目すべき点は、基本理念に「共生社会の実現」を掲げていることです。

今回の改正により、今後、障害の有無に関わらず、共に地域で暮らしていける社会を目指す為のサービスの拡充や基盤の整備が示されています。

これはあかね園が設立以来取り組んできた、地域の中で長く安心して「働く」「暮らす」ことの理念にも大きくリンクしてきました。

大いに期待したくなる、今回の法改正ですが、障害のある彼らが地域で暮らしていくことの安心に本当に近づくものになるのでしょうか。

それは私たちにかかっていると思います。これまでもあかね園は制度に期待し、地域に障害の理解を求めるのではなく、「まずは（親も本人も）自分のできる事を」と、地域生活力を身につける事を実践してきました。ここ数年、障害者に対する地域や企業の間口が広がり、チャンスは増えてきましたが、そこで受入れてもらい定着していくためには、基本的な生活習慣がどこにいても必ず求められています。また、「準備（訓練）」と「実践（体験）」、そして「継続支援（アフターケア）」の3点セットの支援も切り離す事ができません。

しかし、社会背景や制度の変化と共にサービスの枠組み（事業体や班編成）やカリキュラムの内容は変化してきています。そこで、現在の園の各事業がどのような役割を担い、また、地域生活を支える仕組みになっているのかを書いてみたいと思います。

①自立訓練（生活訓練）事業（定員20名）

あかね園の職業準備訓練の基礎コースに位置づけられます。主な利用者は基本的に企業での就労経験（早期離職者除く）がなく、年齢幅も15歳～25歳程度です。利用の経緯も最近は特別支援学校（学級）のみならず、普通高校や専門学校、大学等、様々です。

ここでは、社会やどこの企業においても必要となる、生活習慣（身だしなみ、規則正しい生活リズム、家での手伝い、掃除等）、基本的対人マナー（言葉遣い、挨拶、返事、感謝、謝罪等）、自己管

理能力（健康、時間、持ち物、金銭等）、そして、意欲や責任感、自制力等の内面の成長を促す事に取り組んでいます。この取り組みは、大きな障害者問題にもなっている早期離職や触法行為防止のねらいもあります。

基本年限は2年（最大3年）ですが、社会に出て最も大切なこの“土台”が出来上がった方から適宜、次の就労移行支援事業へステップアップしていきます。

②就労移行支援事業（定員30名）

あかね園の職業準備訓練の実践コースです。年限は基本2年（最大3年）ですので、ここから、年限内に就職に繋げるためのカウントダウンが始まります。利用者の半数は自立訓練事業の修了者ですが、やむを得ない事情から離職し、早期再就職を目的としている方も対象です。

この事業は「企業」を意識した取り組みが中心となり就職活動が本格化していきます。他の事業にはない、ビジネスマナー講座や職場見学会、個別での履歴書作成や面接練習等も実施しています。働く取り組みも精度やスピード等、要求レベルの高い企業からの作業を受けたり、施設外就労



▲自立訓練（生活訓練）事業 掃除へのとりくみ



班（市川環境班、イケア班）や単独での職場実習の経験を重ねる中で、就職可否の判断や企業とのマッチングを図っていきます。

ここ数年は年間で定員の約3分の2（20名）の方が企業へ巣立っていきます。



▲就労移行支援事業 企業見学会

③障害者就業・生活支援センター事業

（登録者363名）※平成25年10月末現在

この事業の登録者は主に求職者（就職したい人）在職者（就職している人）に分類され、習志野、八千代、鎌ヶ谷の3市を中心とした（実際は1都17市の登録者）センターです。あかね園をはじめとした地域の就労支援機関や学校、ハローワーク等とも密に連携し、地域の就労支援の中核として位置付けられています。

あかね園の利用者は就職活動を開始するタイミングでセンター登録し、連携しながら、企業への橋渡しを行います。特に就職後のアフターケアは重要で、登録者への相談（予約制）や定期的な職場訪問、アンケート等によって就労状況を常に把握します。それと共に、就労者達への余暇活動や勉強会の開催、保護者に対しての勉強会等も定期的に開催する等、長年にわたって「地域で働く、暮らす」事を支援します。

④就労継続支援B型事業（定員30名）

この事業は多目的で利用年限のない事が一番の特徴です。現在、定員にも空きがある状況ですが、これまで園から就職していった方がリタイアしてきても、通う場を保障する受け皿の意味もあります。

20代～40代後半までと利用者の年齢幅も広く、目的も高齢化や障害が重くなってきても、個々に



▲生活支援センター事業 在職者交流会

合った仕事内容や働き方を提供すること、再就職を目指している方には就労活動支援と幅広いニーズに対し時間をかけて取り組む為、制度で定めている基準の2倍以上の職員を配置しています。

この事業があるからこそ、あかね園の利用者や就職者、そして、その保護者達の企業へ挑戦しようという気持ちの安心感にも大きく繋がっているのだと思います。

◇今後のあかね園

これからあかね園では「生活支援」の強化にも取り組んでいきたいと思っています。

今年度、新たに2カ所のグループホームを加えた4つのグループホームが「訓練型」「通過型」「多目的型」という機能を持ち、これらホームと前述の4つの事業が相互に活用、サポートし、学校卒業後から高齢化しても切れ目ない支援で地域生活していくための力のボトムアップを図っていきたいと考えています。

国の制度が「絵に描いた餅」や「宝の持ち腐れ」にならぬよう、私たちが制度をしっかりと使い、やるべき事はやり、準備をし、利用者や家族のニーズに沿う支援をしていきたいと思っています。

▼就労継続支援B型事業 色々な働き方の提供



第27回あかね園バザー報告

◆バザー収支報告

総売上 3,034,838円
総経費 445,472円
収益 2,589,366円



ご協力いただきました企業

(順不同 敬称略)

フジッコ(株) (株)京樽船橋工場 (株)フレッシュダイナー 日新化工(株) (株)ミスターマックス新習志野店 森永乳業(株)
金亀糸業(株) ニック食品(株) (株)セキヅカ商事 (株)おたべ (株)エスシー ライフフーズ(株)船橋工場 (株)カルタス
イオンフードサプライ(株) 東京エコー(株) エスフーズ(株) 船橋興産(株) (株)ニチレイフーズ船橋工場パックスセンター
ロイヤル(株) (株)ダックス 文明堂製菓(株)船橋工場 (株)京葉食品コンビナート協議会 京葉測量(株)
船橋総合卸商業団地協同組合 (株)ロジスティクス・ネットワーク習志野物流センター 小石産業(株) 石上青果(有)
京成バス(株)新都心営業所 (株)ジェイアイシー サッポロビール(株)京葉物流センター (株)日経首都圏印刷
勝又自動車(株)コルネット事業部 (株)市川環境エンジニアリング 東京アート(株)第一物流センター イケア・ジャパン(株)
ヴァリュウゲイツ(株) 習志野市茜浜第3企業連絡協議会 (株)テンポスバスターズ 利根コココーラボトリング(株)船橋支店
三井食品(株) (株)フリジポート プライフーズ(株)東京営業所 船橋芝六太鼓 (株)ドトールコーヒー 豊茂園
(株)今半船橋工場 石橋梨園 (有)E-anba ありがとうございます。



「友の会」へのご入会をお願いいたします。

一般会員 (年間一口 3,000円) 法人会員 (年間一口 10,000円)

郵便振込 00110-0-354445 銀行振込 千葉興業銀行 津田沼支店 普-4771251

入会申込み、問合せは事務局まで Tel 047-452-2715 Fax 047-452-2693

園日誌より

自立訓練事業 吉田 梨絵

自立訓練事業では、年間を通して特別支援学級、特別支援学校から実習生を多数受け入れています。

実習生の中には、緊張からなかなか言葉が出ない方や日頃のこだわりを崩せず、園の流れにのれない方、遊び感覚で来ている方等、様々です。

学校とは全く違う、慣れない環境の中、2週間という短い期間で園から実習生に伝えられる事は限られています。しかし、社会に出て必要なことを当たり前の事として、学校の実習生にも求める事が、現段階では、本人の成長度合いやこれから身につけていけない事を明らかにできる貴重な機会だと思っています。

あえて特別扱いせず、諦めずに繰り返し求める事で、普段、声の出なかった実習生が小さな声でもきちんと話せるようになったり、家や学校で絶対に譲れなかったこだわりを我慢し、園のルールに合わせる事が出来るようになる事もよくあります。そのことを保護者の方や先生に伝えると、わが子の変化に驚き、「あかね園に来てよかった。私も諦めずに向

き合っていきたいと思います。」という前向きな言葉をいただき、本当に嬉しく思いました。できないと思い込まずに出来るかもしれないと希望を持って向き合う事、そして何事も諦めないという事が次へと繋がる一歩だと信じて、実習生に対してもしっかりと向き合うことを心がけていきたいと思っています。



編集後記

バザーが終わり、友の会は来年6月27日(金)のコンサートに向けて準備を進めています。ニューフィル千葉・室内楽の演奏と共に、ソプラノとバリトンの楽しい歌もあります。今回は夜の開催になります。皆様のお越しをお待ちしております。(A)

編集人 あひるの会友の会代表 国松実枝子
発行所 社会福祉法人 あひるの会「友の会」
〒275-0024 習志野市茜浜3丁目4番5号